



第 31 号 (年 4 回発行) 編集発行 弘前学院大学 学 会 前 報 委 員 会 弘 広 印 刷 所 (有)小野印刷所

「問題解決型教育と」コミュニケーション能力」

学長 吉岡 利忠



平成20年4月3日に挙行政式式辞の一部を掲載します。弘前学院大学は、3学部、4学科、2大学院研究科を擁する中規模ではありますが総合大学です。弘前学院大学の教育の背景には、キリスト教の精神が流れておりま

す。北東北にあつては、これに基づいた教育が120年以上の歴史を刻み、同時に伝統を積み重ねて

お付け下さい。校旗も一号館前の3本の中央ポールにはためいてお

な姿勢であります。自ら進んで問題解決するという姿勢です。

と報道されています。弘前学院大学は、2007年に財団法人大学

本多庸一とキリスト教(8)

学校法人弘前学院 理事長 阿保 邦弘



六 キリスト教入信過程とその動機 明治五年(一八七二)二月、自費での遊学を決意し、厳冬の中

けようとしていたのである。彼は、「愕然として、自己の救いのために、さらに真摯な真理追求への激励と

本多は満二十三歳であった。第二回で述べた「私の回心」と多少重複するがこの時の心境は「ここに

ていまや失意の境遇にあるものなり。新信仰を告白して天下と戦ふ

平成二十年度 科学研究費補助金 県内私立大学で 第一位を獲得!



2008年度 入学式

文部科学省から科研費配分を受けた全私立大学(五〇八校を配分額の順に並べると、

地域総合文化研究所だより

所長 笹森 建英

「弘前陸軍病院の看護婦」を演題とする大串靖子氏の講演会が七月十九日に行われまし

（心の色は赤十字）の軍歌を感慨をこめて歌ってくれたのは感動しました。

当日、看護学部の学生、先生方が積極的に出席し、予定の会場に入りきれなく、四階の階段教室に変更するくらい盛り上がりしました。研究所の活動がますます活発になり、地域研究の発信の拠点として重きをな

していくのを嬉しく思います。九月には、盛岡大教授の「東北の地域文化の特質について」の講演、一月には早稲田大学の教授による「青森県における日本初めてのストライキについて」の講演を予定しています。

景、現在の教育との比較が述べられ、多くを学ぶことが出来ました。

最後に、その四名の元看護婦さんたちと元国立病院長が、

講演会
弘前陸軍病院の看護婦
～青森県の看護教育～



講師：大串靖子
青森県立保健大学大学院客員教授
青森県看護教育研究会代表

日時：2008年7月19日（土）午後2:00～4:00
場所：弘前学院大学1号館 414 聴講室
主催：弘前学院大学地域総合文化研究所
弘前学院大学1号館 13-1 ☎0172-34-5211 (藤原、木村紀美)

若沖の墓

英語・英米文学科長 佐藤 和博

『瀧澤龍彦の古寺巡礼』瀧澤龍彦、瀧澤龍子著（平凡社）によれば、彼の「鐘愛の寺」のひとつに、京都深草の石峰寺（せきほうじ）がある。「伏見界限」と題した一文で、この寺について瀧澤龍子氏は次のように回想している。

「石峰寺は瀧澤お気に入りの寺で、何度も行きました。最初に訪ねたのは一九七一年で、このときは伏見・深草あたりを歩こうというこ

で、何度も行きました。最初に訪ねたのは一九七一年で、このときは伏見・深草あたりを歩こうというこ

で、何度も行きました。最初に訪ねたのは一九七一年で、このときは伏見・深草あたりを歩こうというこ

研究紹介

日本語・日本文学科長 教授 井上 諭一

私の最近の研究テーマからひとつを取り上げて紹介します。現代の文学研究の領域が、いわゆる狭い意味での「文学」に留まらな

らなことを知っていたら、幸い。『ネットカフェ難民』とは、主に経済的な困難から、決まった居住スペース（住所）を持つことができず、24時間営業のインターネットカフェで睡眠を取る本初

めでのストライキについて」の講演を予定しています。

この言葉は、日本テレビ系「ドキュメント07」で使われたのが最初と言われていますが、その

実態はもともと以前からありました。（このドキュメンタリーで芸術選奨を受賞した水島宏明さん

は私の高校の同級生です。）今を払う。正面には本堂がある。お寺の建物としてはそれだけ。

この地に、画家・伊藤若沖は庵をお金で自らデザインした石の羅漢像を一体ずつ石工に彫らせ、その石仏を寺の裏山に順次配置していったといわれる。米斗翁（いとおう）とも呼ばれた若沖が、五百羅漢を完成するの

に十年余かかったという。竹林の奥、丘のあちこちに、菩薩羅漢、釈迦誕生から涅槃に至る石仏群が配置されている。ぐらりと一回り。風化して表情の窺

われないものもある。それで

も、その表情は時にユーモラスなものを含んでいる。見ている者も微笑を誘われ、竹林の風の中、俗世のことも一瞬忘れて、

ほっと一息つく。

本堂の南に伊藤若沖の墓がある。あの有名な画家の墓にしては、慎ましい印象を受ける。しかし、この地は若沖にとって、隠棲した場所であり、大きな墓は相応しくないかもしれない。むしろ、自らデザインして作らせた五百羅漢が、自分の墓を見守るようにして並べられている所が興味深い。若沖は石仏を順々に配置しながら、自分の墓の場所も考えたのだろうか？

『地域学 六巻』は津軽神楽・狂楽舞、東通の芸能、縄文琴、国会開設運動、方言、弘前藩「改

正文化律」、幼児教育、看護学など、豊富な内容であり、好評です。

や印象がずいぶん違っています。藤沢周「陽炎の？」や長嶋有「二十歳なども同じ系列の作品」と考えることができるのです。

も大正時代にこのような「難民」状態を描いた文学作品として、葛西善藏「子をつれて」（大正7）を挙げることが出来ます。家賃の滞納から家を追い出され、成り行きは、現代とまったく同じと言ってもいいぐらいです。葛西善藏（青森県出身）の先見の

明を言うよりも、ほとんど一世紀近く、この日本において何ら問題が解決されてこなかったことに憤るべきでしょうか。

が期待されている「大きな物語（歴史や社会システム全体を考へさせるような小説は、このようにところに胚胎していると考えられるのです。

「ネットカフェ難民」とは、主に経済的な困難から、決まった居住スペース（住所）を持つことができず、24時間営業のインターネットカフェで睡眠を取る本初

めでのストライキについて」の講演を予定しています。

この言葉は、日本テレビ系「ドキュメント07」で使われたのが最初と言われていますが、その

実態はもともと以前からありました。（このドキュメンタリーで芸術選奨を受賞した水島宏明さん

は私の高校の同級生です。）今を払う。正面には本堂がある。お寺の建物としてはそれだけ。

この地に、画家・伊藤若沖は庵をお金で自らデザインした石の羅漢像を一体ずつ石工に彫らせ、その石仏を寺の裏山に順次配置していったといわれる。米斗翁（いとおう）とも呼ばれた若沖が、五百羅漢を完成するの

に十年余かかったという。竹林の奥、丘のあちこちに、菩薩羅漢、釈迦誕生から涅槃に至る石仏群が配置されている。ぐらりと一回り。風化して表情の窺

われないものもある。それで

も、その表情は時にユーモラスなものを含んでいる。見ている者も微笑を誘われ、竹林の風の中、俗世のことも一瞬忘れて、

ほっと一息つく。

本堂の南に伊藤若沖の墓がある。あの有名な画家の墓にしては、慎ましい印象を受ける。しかし、この地は若沖にとって、隠棲した場所であり、大きな墓は相応しくないかもしれない。むしろ、自らデザインして作らせた五百羅漢が、自分の墓を見守るようにして並べられている所が興味深い。若沖は石仏を順々に配置しながら、自分の墓の場所も考えたのだろうか？

も考えたのだろうか？

父母と教職員の会定例総会が五月三十一日（土）、本学において開催され、次の議案が審議の後、決定されました。

第一号議案
二〇〇七（平成十九）年度活動報告及び二〇〇七（平成十九）年度収支決算報告について
第二号議案
二〇〇八（平成二十）年度活動計画案及び二〇〇八（平成二十）年度収支予算案について
また、役員については、次のとおり決定されております。

この度、社会福祉学部の本郷亮講師は、著書『ピグーの思想と経済学』（名古屋大学出版会、2007年）により、経済学史学会研究奨励賞を受賞されました。

本郷先生学会賞受賞
著書『ピグーの思想と経済学』
ピグー（一八七七〜一九五九）は、経済学をリードしたケンブリッジ経済学派の代表者の一人で、厚生経済学と呼ばれる新しい研究分野を作り出した人で

父母と教職員の会総会・懇談会

会長 伴 恵美子
副会長 柳田 光祥
副会長 佐藤 和博（本学教授）
顧問 吉岡 利忠（学長）
監事 吉川 秀樹
監事 佐々木正晴（本学教授）



2007（平成19）年度弘前学院大学父母と教職員の会収支決算書

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	830,739	運営費	305,000
入会金	648,000	事務用品等購入	30,000
会費	6,120,000	各種（役員会・総会）案内	16,292
雑収入	100	交通費	15,000
合計	7,598,839	会議費	20,000
		慶弔費	80,000
		活動費	650,000
		広報費	300,000
		父母懇談会費	350,000
		新旧役員親睦会費	0
		活動協力費	4,350,000
		父母・教職員研修会費	300,000
		教員研修補助費	0
		職員研修補助費	400,000
		春英費補助費	200,000
		宗教部補助費	550,000
		学生課補助費	100,000
		学友会補助費	300,000
		就職開拓補助費	800,000
		図書補助費	700,000
		学生募集活動補助費	500,000
		研究所補助費	200,000
		国際交流活動補助費	300,000
		特別補助費	2,293,839
		特別スポーツ補助費	100,000
		学生会・大会補助費	300,000
		設備補助費	900,000
		予備費	993,839
合計	7,598,839	合計	6,700,113

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	830,739	運営費	305,000
入会金	648,000	事務用品等購入	30,000
会費	6,120,000	各種（役員会・総会）案内	16,292
雑収入	100	交通費	15,000
合計	7,598,839	会議費	20,000
		慶弔費	80,000
		活動費	650,000
		広報費	300,000
		父母懇談会費	350,000
		新旧役員親睦会費	0
		活動協力費	4,350,000
		父母・教職員研修会費	300,000
		教員研修補助費	0
		職員研修補助費	400,000
		春英費補助費	200,000
		宗教部補助費	550,000
		学生課補助費	100,000
		学友会補助費	300,000
		就職開拓補助費	800,000
		図書補助費	700,000
		学生募集活動補助費	500,000
		研究所補助費	200,000
		国際交流活動補助費	300,000
		特別補助費	2,293,839
		特別スポーツ補助費	100,000
		学生会・大会補助費	300,000
		設備補助費	900,000
		予備費	993,839
合計	7,598,839	合計	6,700,113

（収入合計金額）7,523,553・（支出合計金額）6,700,113・（残額）1,052,440（次年度繰越金）
上記調査の結果収支異常ないことを認めます。
平成20年5月15日

2008（平成20）年度弘前学院大学父母と教職員の会収支決算書

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	830,739	運営費	305,000
入会金	648,000	事務用品等購入	16,292
会費	6,120,000	各種（役員会・総会）案内	15,000
雑収入	100	交通費	20,000
合計	7,598,839	会議費	80,000
		慶弔費	54,000
		活動費	650,000
		広報費	300,000
		父母懇談会費	350,000
		新旧役員親睦会費	0
		活動協力費	4,350,000
		父母・教職員研修会費	300,000
		教員研修補助費	0
		職員研修補助費	400,000
		春英費補助費	200,000
		宗教部補助費	550,000
		学生課補助費	100,000
		学友会補助費	300,000
		就職開拓補助費	800,000
		図書補助費	700,000
		学生募集活動補助費	500,000
		研究所補助費	200,000
		国際交流活動補助費	300,000
		特別補助費	2,293,839
		特別スポーツ補助費	100,000
		学生会・大会補助費	300,000
		設備補助費	900,000
		予備費	993,839
合計	7,598,839	合計	6,700,113

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	830,739	運営費	305,000
入会金	648,000	事務用品等購入	16,292
会費	6,120,000	各種（役員会・総会）案内	15,000
雑収入	100	交通費	20,000
合計	7,598,839	会議費	80,000
		慶弔費	54,000
		活動費	650,000
		広報費	300,000
		父母懇談会費	350,000
		新旧役員親睦会費	0
		活動協力費	4,350,000
		父母・教職員研修会費	300,000
		教員研修補助費	0
		職員研修補助費	400,000
		春英費補助費	200,000
		宗教部補助費	550,000
		学生課補助費	100,000
		学友会補助費	300,000
		就職開拓補助費	800,000
		図書補助費	700,000
		学生募集活動補助費	500,000
		研究所補助費	200,000
		国際交流活動補助費	300,000
		特別補助費	2,293,839
		特別スポーツ補助費	100,000
		学生会・大会補助費	300,000
		設備補助費	900,000
		予備費	993,839
合計	7,598,839	合計	6,700,113

（収入合計金額）7,523,553・（支出合計金額）6,700,113・（残額）1,052,440（次年度繰越金）
上記調査の結果収支異常ないことを認めます。
平成20年5月15日

二〇〇七年度就職状況について

就職課長 福井 修

二〇〇七年度(2008年3月卒)の企業の採用状況は順調に推移し、バブル期の求人数を上回った二〇〇六年度の求人数を更に上回る結果となっている。

ただ、学生にとつての「売り手市場」とはいうものの、各企業の採用のスタンスは「厳選採用」という点に変わりなく、有名企業や大企業では厳しい状況が続いている。また、本学学生の多くが希望する県内就職は採用が少なく依然として厳しい現状にある。

また、志望者の多い青森県内公務員・教員の採用についても、いずれも採用数が少なく、引き続き極めて「狭き門」の状況が続いている。

2007年度 弘前学院大学就職状況

産業別就職状況
英語・英米文学科

サービス	ソフトハウス(株)、朝日マシニンググループ、朝日セノム、朝日タイナム(2)、朝日河内ソフトウェア、朝日システム、ルートイングループ、日本通運
卸・小売	東北化学薬品、マックスバリュ、ピエスサービス、イオン、ヤマダ、アズノアス、スリル、横浜フアーマシー
教育	七戸高校講師、森田中学校講師、秋田県講師、イッティージャパン、エース塾
保険	日本生命青森支社、朝日スクエア(2)
医療	弘前愛成会病院
建設・製造	朝日リーファ
進学	東京アカデミー通信講座

日本語・日本文学科

卸・小売	伊徳、雑貨屋ブドックス、ヨドバシカメラ、マエタソフトバンクモバイル、タジマ、クリエイト
通信	青森放送
サービス	ランドナーージャパン弘前、セノム、フェアートン、共育舎(2)、牛の博物館(岩手県)
農協	津軽みなみ農協、とほく天間農協
銀行・証券	青森銀行
建設・製造	朝日リーファ
教育	七戸高校講師、東奥義塾高校講師、弘大医学部研究科研究室事務
公務	青森県立郷土館、むつ市役所臨時職員
進学	弘前学院大学研究生、弘前学院大学科目等履修生(2)、東京ビジュアルアーツ、通信教育(保育士)

社会福祉学科

施設等	七峰会(8)、愛成園、早稲園、藤聖母園(2)、NPO法人ファンタジスタ、ワタミの介護(2)、幸せの里、三戸福祉事務組合、カナノの園(岩手県)、いわて虹の家(2)、弘前乳児院、瑞光園、みらいの里、りんどう会(2)、障害サポートセンターゆめ、柿の木苑、宮城福祉会、妙光園、八甲学園、和洋舎オンラインフット、博愛会テレスカ(3)、伊理前保育所、すみれ保育園、南サンライズ
教育	弘前第一養護学校講師、イッティージャパン
医療	弘前愛成会病院、青仁会(3)、芙蓉会病院(2)、下越病院(新潟県)、慈恵会、函館中央病院、秋田東病院
卸・小売	シバタ医理科、ダンロップファルケン、コメリ、ユニクロ、フジモーターズ、ユニバース、ヨークベニマル、伊徳、横浜フアーマシー(2)、クボタ、中三、薬王堂(2)
銀行	みちのく銀行
公務	弘前市役所臨時職員
サービス	リハロ津軽スポーツクラブ、磐ヶ沢観光協会、グッドコミュニケーションズ、セノム、わらび産産協、弘前公益社、総合警備保障、総合警備保障ALSOK、大和リゾート、東急セキヤリ
建設・製造	大和冷機工業、家業従事(建設)
進学	鶴舞看護学校、秋田建築専門学校

都道府県別就職状況

	文学部		社会福祉学部	合計
	英米文学科	日本文学科	社会福祉学科	
北海道	0	0	1	1
青森県	14	12	53	79
秋田県	2	1	3	6
岩手県	0	1	5	6
宮城県	0	3	2	5
福島県	0	0	1	1
関東圏	7	5	9	21
その他	4	1	5	10
合計	27	23	79	129

弘前学院大学就職課

さて、本学の2007年度就職状況は就職内定率で96.2%と最近では最高の結果となった。具体的な就職先等については、左記の表をご覧ください。

の比較では県外の方が、また、文系と理系では理系の方が、それぞれ就職内定率が高いという結果となっている。そのため文系でしかも県内就職の場合の内定率は90.1%と平均をかなり下回る結果となっている。

本学においても県内就職から県外就職に変更する割合が増えてきており、その結果が高い就職率という結果になっていると思われる。今後も積極的に県外企業への就職に挑戦されることを望む。

看護学部 学内就職セミナー 病院合同説明会開催さる!

就職課長 福井 修

去る4月23日(水)、学内就職セミナー・病院合同説明会が本学看護学部棟において開催されました。

看護学部の完成年度を迎える今年度初めての試みとして開催されたもので、看護現場の生の声を聞くことにより学生の就職活動の一助とするものです。

当日、看護学部の学生は4年生のほぼ全員の52名と3年生28名の計80名が参加しました。また、病院側からは沢山の参加依頼がありました。そのうち県内11病院、関東を中心とする県外13病院の計24病院が参加となりました。

同院長のあいさつに始まり、待ちかねたように学生は各ブースに散っていききました。学生はセミナーの開催時間の2時間半をたっぶり使い、多くのブースを熱心に回っていました。参加した学生からは、「興味のある施設の情報が得られた」「就職活動の第一歩としての取り組みがわかった」などの意見が寄せられ、また、参加した病院側からも「是非また参加したい」などの意見が寄せられました。

今回のセミナーは病院の採用意欲も高く、また、学生の関心も高く、初めてとしては、成功裡に終わったものと総括いたします。また、この状況をぜひ就職決定にも結びつけてもらいたいと思います。

本セミナー開催のためにご尽力いただいた関係者の方々、またご出席頂いた病院の方々に厚く御礼申し上げます。



留学先のラクロス校から成績優秀表彰

英語・英米文学科 4年生の平山愛海(まなみ)さんは、昨年八月から今年の5月までの一〇ヶ月間、本学と姉妹提携しているウイスコンシン大学ラクロス校に留学していたが、この度、優秀な成績をたたえる賞状が贈られた。

平山さんが学んだクラスには世界各国から約15人の留学生がいます。同賞は、講座での積極性、英作文の内容、表現などを考慮して決定される。平山さんが特に評価されたのは、ライティングの力で、「趣味」「故郷の一番好きな場所」など、毎週出される課題に沿ったエッセーの文章が優れていると認められたからである。

平山さんは「中学校の英語教師になりたい、ラクロス校の先生に認められ達成感でいっぱい」と喜びを語っていました。この平山さんのように、どんな外に出て研鑽し、後に続く学生がますます増えることを期待します。



国際交流委員会報告

准教授 タッド レオナルド

2008年度の研修生は六月に咲くバラのように、足ばやに訪れて去って行きました。ステイン・リヴァース、クリステン・ドライファースト、レベッカ・シム、マシュー・ギレン達でした。一ヶ月の滞在の間に、日本語と日本文化について研修しました。毎日、午前中は日本語を学び、午後は華道、茶道、書道、凧づくり、日本舞踊など、様々な体験をしました。その他、学校、病院、りんご園などを訪問し、最終の週には盛岡市で一日を楽しまました。研修に關わった先生方、事務の方々、善意あるホームステイの家庭、ボランティアの学生たちに感謝を述べます。今年の学生が積極的であったばかりでなく、多くの方々の協力があつたので、成功裡に終わることができました。



2008年度の研修生は六月に咲くバラのように、足ばやに訪れて去って行きました。ステイン・リヴァース、クリステン・ドライファースト、レベッカ・シム、マシュー・ギレン達でした。一ヶ月の滞在の間に、日本語と日本文化について研修しました。毎日、午前中は日本語を学び、午後は華道、茶道、書道、凧づくり、日本舞踊など、様々な体験をしました。その他、学校、病院、りんご園などを訪問し、最終の週には盛岡市で一日を楽しまました。研修に關わった先生方、事務の方々、善意あるホームステイの家庭、ボランティアの学生たちに感謝を述べます。今年の学生が積極的であったばかりでなく、多くの方々の協力があつたので、成功裡に終わることができました。

2008年度 特待生

- 日本語・日本文学科 1年生 工藤 侑子
- 英語・英米文学科 2年生 竹越 華子
- 日本語・日本文学科 3年生 柴田 恵佳
- 日本語・日本文学科 4年生 佐藤 香織
- 社会福祉学科 1年生 富士 千紘
- 2年生 越田 喜子
- 3年生 八戸 美晴
- 4年生 安田 理央
- 看護学科 1年生 川村 理世



人事異動

新任紹介

社会福祉学部 講師 八木橋鉄弘

看護学部 講師 漆坂 真弓

退職 助教 關 明美

図書館 助手 太田真由美

図書館 助手 幸山 靖子

図書館 室長 藤田 昶

転出 聖愛中等高等学校図書館へ 就職課より 三浦 順子

聖愛中等高等学校事務室へ 総務課より 今 宣孝

平成20年度 学部・学科長及び主任紹介

文学部 文学部長 教授 島山 篤

英語 英米文学科長 教授 佐藤 和博

日本語・日本文学科長 教授 井上 諭一

学務主任 准教授 吉永 直子

学生主任 准教授 坂井 任

社会福祉学部 学務主任 准教授 吉岡 利忠

社会福祉学科長・学務主任 准教授 八戸 宏

学生主任 准教授 西東 克介

看護学部 看護学部長 教授 神郡 博

看護学部長 教授 木村 紀美

学務主任 教授 片桐 康雄

学生主任 教授 三上 聖治

「折れることなく」

文学部 英語・英米文学科 山本 康太(弘前高校卒)



いつの間にか、もうねぶたの季節、入学してからあつという間に4ヶ月が過ぎた。これから2ヶ月近くもある長い夏休みに入る。この2ヶ月をどう使うか。車の免許でもとろうか。

今思えば、入学当初は不安なことばかりだった。これからできる友達についてや、日々の大学生活について、そして何より、第一志望ではないこの大学で自分の目標に近づけるかという不安があった。しかしその不安もすぐに消えた。たかさんの素晴らしい友達もできたし、日々の大学生活もとても楽しい。そして授業内容も濃く、先生方が学生一人一人をしっかりとサポートしてくれる。これなら私たちが学生もそれぞれの夢や目標に近づけることができるだろう。不安も消え、今ではこの大学に入って正解だったとまで思えるようになった。

話が変わるが、私は高校時代、ボクシングをやっていた。部員は6人で、その中でも毎日練習に来るのは私を含めてたったの4人。活動場所も狭く、環境は良いとは言えない。練習も楽ではない。まともにパンチを喰ってフラフラすることもしばしば。それでも諦めたいとは思わなかった。せつかく見つけた熱中できるものを失いたくなかったというところもあるが、少ないながらも一緒に頑張ってきた仲間が存在が、一番の要因だった。共に頑張れる仲間がいれば辛いことや苦しい事も乗り越えていける。だから大学でも、勉強のみならず、学校行事やサークル活動等、仲間とともに頑張っていきたい。

最後に、弘学に入る前に私はある人にこのように言われたことを覚えている。「どこの大学に入るかが大変なんじゃないとお前がどれだけやるかが大事なのだ」と。私も確かにそうだと思う。有名大学に入っても自分が何にもしなければ話にならない。最終的には自分の努力がものを言う。だからこの四年間で多くのことを学び、それを積み重ね、自分の目標に近づけるようにしたい。

「大学に入学して」

社会福祉学部 一年 島山 直子(大船渡高校卒)



4月、私はこの弘前学院大学に入学しました。それとほぼ同時に、地元岩手を離れたこの青森での一人暮らしが始まりました。私は一人暮らしを始める不安と共に、様々な不安を抱えていました。その不安とい

うのは、第一志望ではなかった弘前学院で自分はどこまで頑張れるのか、友達をちゃんとつくれるのか、そして何より家族に迷惑をかけているということが私の中で大きな不安でした。しかし日が経つにつれ、一人暮らしの寂しさや大変さや、楽しいこと、うれしいことを共に分かち合える友達が出来、そして優しく温かい先生方にも会えたので私の一人暮らしと大学に対する不安が和らいでいきました。家族に迷惑をかけていることは今でもとても不安ですが、親と電話をした時に何も心配しないで頑張れと言ってくれたので、少し心の不安がなくなりまし

表現できるようになりたいです。また、最近では、第二外国語としてとっているフランス語も授業の楽しみの一つです。

語学を勉強していると、人々とのコミュニケーションの大切さがよくわかります。入学してから様々な人に出会い、多くの話を聞くことで以前より自分という人間について考えることができるようになっていきました。これからのこの学科で幅広い知識を身につけ、様々な人と接する中で自分自身成長していけたらと思います。そして、四年間、勉学の他にもサークル活動やアルバイトなど色々な経験をj得て、充実した大学生活を送りたいと思っています。

新入生雑感

人の暖かさ

看護学部 工藤 愛美(盛岡北高卒)



「家を出たい、そんな気持ちをもっていた私は、四月、気づけば一人での弘前の地へ来ていた。しかし、現実と理想は大きく違っていた。私を待っていたのは不安と孤独。私を淋しきだった。今までの私にあっては、辛い時に助けてくれる、分らない時に頼ることが出来る、一緒に笑ったり泣いたりしてくれる友達や家族、そして恩師だった。あたり前のようにいてくれた人達が、弘前には誰一人としていない。全て自分

分一人でもやらなければならないという壁に私は直面した。心細かった。不安だった。そんな時私を救ってくれたのは、故郷の友達、恩師、家族。そして弘前の大学で知り合った元気な友達や熱意が伝わってくる先生方だった。私は沢山の人が助けられ支えられて、今はこの大学で自分の夢に向かって楽しく勉強することが出来る。心からありがとうと言いたい。初めて一人暮らししてみても、人と関わることの有り難さや心遣いの暖かさをより深く感じる事が出来るのだと思う。

経験をしてわかることがある。今までと同じことを続けていても何も変わらない。沢山の経験や辛さが自分を成長させていく。感じることに、振り返ること、行動すること、振り返ること...そんなことを繰り返しながら、私はこの四年間を、看護学部の仲間と共に、頼もしい先生方を信じ、国家試験に向けて頑張っていきたい。夢を現実に変えようと思う。

大学院に入学して

大学院社会福祉学専攻科 西川 直子(柴田女子高校卒)



弘前学院大学大学院社会福祉学専攻科に入学して早いもので3ヶ月が過ぎた。私は平成17年に本学の社会福祉学部を卒業しており、その後3年間ですが養護学校特別支援学校で非常勤講師や臨時講師をしていたが、学部を卒業したいとは思っていたが、学部を卒業してからは3年もプランクがあるので、いざ大学院に入学したとしても大学院の講義についていけないものだろうか、とか2

年間修士論文を書くことが私には出来るか。そしてまた、学費や生活費(私には子どもが居ます)では、本当に捻出できるのだろうか等、とにかく不安がいっぱいであった。しかし、念願が叶って入学してみると私の不安や悩んでいたことは先生や仲間と話しているうちに消えていき、初めての大学院生活で、これから自分でもやらなければいけないことへのワクワクとした希望や期待のような気持ちへと変わった。いったいどうなるのか、このように考えなれたのは、私の周りについて私を励ましてくれる友人や家族や先生方、学生課や学務課等の事務部の皆さんに支えられているお陰だと思ふ。実に感

卒業生からのメッセージ

2006年3月 文学部 日本語・日本文学科卒 森谷 和美 (現在青森銀行勤務)



大学に通う皆さんは「今」という時間をどのように過ごしているのでしょうか。

振り返ってみると私にとっての四年間は非常に密度の濃い、有意義な時間だった。体験の集大成だったと感じます。

そもそも何のために大学に入るのか。私は初めから目標を持って入学したのではなく、日本文学が好きだから、それだけで入った。アルバイトと

授業の繰り返しで、将来への焦りが出るのは必然。気持ちだけ先走り、空回りしては落ち込むといった悪循環に陥る毎日。そんな中私を支えたものは大学で知り合った仲間や先生方でした。それは支えてくれただけでなく、社会人としての常識なども不思議と身に付いたと今では思います。例えば、フランス語の先生の後押しもあって実現した語学留学は、言葉の壁は勿論、言語だけでは限界のある気持ちの読み取りや、強調性が養われ、また、ゼミのグループワークも自分の意思発言やまとめる力など培われ、どれも社会人に求められる資質と言えるでしょう。いわば、大学は

社会人になるためのファーストステップなのです。目標を持って突き進んでいる人は優れている、と私自身も在学中は本気で思っていました。しかし、目標を模索中の人との差はあまりありません。現に私も就職活動が始まる時期やりたいことが見つからず、どう動くか悩んでいた時、ある先生に「ダメもとで銀行は？」という一言で、それが目標になりました。向いているかどうかはまだわかりませんが、働き甲斐と充実感があります。

G8エネルギー大臣会合に参加して

文学部 英語・英米文学科 二年 船水南都美

六月七、八日に青森ホテルで「G8エネルギー」大臣会合が厳重な警備の中開催された。私たち大学生は二回の事前研修を経て、報道陣と同じ立場で入場し、体験学習としてこの会議に参加した。当日の体験は、普段の生活では不可能なものだった。エネルギー政策に関する各国のトップが集まった開会式に出席し、国際会議の厳かな一面も和やかな一面も見ることができた。また、同時通訳者の仕事を生で見たのは私の職業観を変えてしまった。

午後、アスパムへ移動し、「G8エネルギー」大臣会合記念エコ&エネルギー展を見学した。各企業のエネルギーに対する取り組みを、各ブースでの説明を聞きながら、楽しく見学した。また、三社が作った電気自動車に乗ることもできた。初めて乗ったが、とても静かで普通の自動車と変わらなかつた。しかし、まだまだ多くの課題が残っている。将来これらの車が普及するために企業側にはより一層努力を重ねてほしいと感じた。

その後、会議会場に戻って記者会見に参加した。甘利大臣はそれぞれに得意不得意はある。その得意な部分不得意な部分も学んでみませんか。



後列右から2人目、船水南都美さん

「新たなスタート」

文学部 日本語・日本文学科 工藤 侑子(青森東高校卒)



憧れていたキャンパスライフも、はや四ヶ月が過ぎようとしています。

入学してからの一、二ヶ月は驚きと発見の連続でした。高校とは違い、全て自己責任で時間割を組まなければならないため、最初には不安に思うことも多々ありました。しかし、学校にも慣れ始めてきたころから弘前学院大の環境の

素晴らしいに気付くようになりました。少人数である分、本当に密な授業を受けることができ、わからないことがあれば周りの友人や先生方が丁寧に教えて下さいます。こうして、一緒に頑張れる人が近くにいることは大学で勉強を続けていく上で、とても大きな刺激、励みになっています。

今、私が勉強している日本文学には、四季折々の風景や日本人ならではの感性が多く取り込まれており、改めて日本文学やことばのもつ美しさを感じています。文学を通して味わった感動を自分でも